



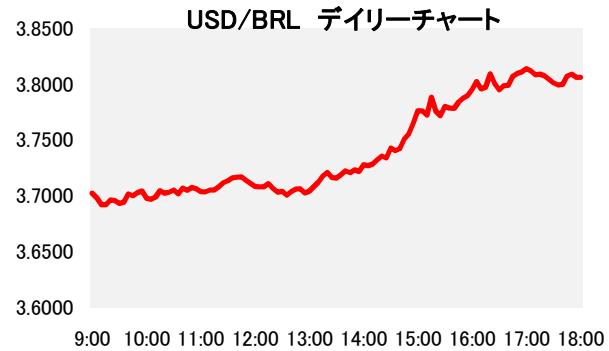
1. マーケット・レート

			6月8日	6月11日	6月12日	6月13日	6月14日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.7080	3.7110	3.7200	3.7220	3.8060	+0.0840
	BRL/JPY	Spot	29.540	29.650	29.67	29.65	29.07	-0.58
	EUR/USD	Spot	1.1769	1.1784	1.1745	1.1789	1.1569	-0.0220
	USD/JPY	Spot	109.55	110.03	110.35	110.34	110.61	+0.27
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	7.178	7.185	7.075	7.192	7.524	+0.332
	Future	1Year(p.a.)	8.045	7.948	7.955	8.139	8.660	+0.521
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.923	3.960	4.100	4.229	4.124	-0.105
	USD	1Year(p.a.)	4.376	4.420	4.734	4.914	4.858	-0.055
株式	Bovespa指数		72,942.07	72,307.75	72,754.13	72,122.13	71,421.19	-700.94
CDS	CDS Brazil 5y		251.20	254.00	265.14	264.06	270.77	+6.71
商品	CRB指数		200.038	199.393	200.144	200.091	199.008	-1.08

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

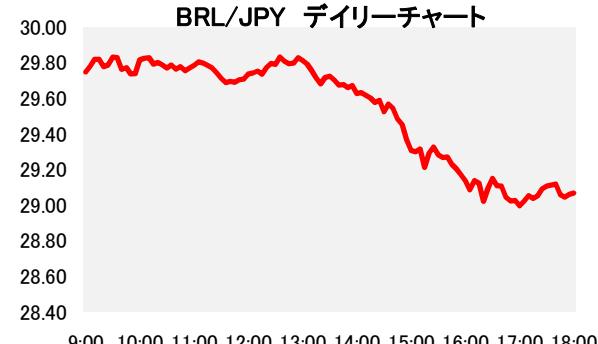
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
IBGEサービス部門売上高 前年比	1.4%	2.2%	-0.8%
(米)小売売上高速報(前月比)	0.4%	0.8%	0.3%
(米)輸入物価指数(前月比)	0.5%	0.6%	0.3%
(米)新規失業保険申請件数	223k	218k	222k
(米)失業保険継続受給者数	1732k	1697k	1741k



3. 要人コメント

ドラギECB総裁	(政策金利は) 現在の水準に少なくとも2019年夏までとどまる
----------	---------------------------------



4. トピックス

- 本日のレアルは3.7180で寄り付き、直後に日中高値3.6910を付けた。朝方発表された5月の米小売売上高が予想を上回ったことでドルが堅調に推移したが、伯中銀によるドル売り介入を受けて午前中のレアルは底堅い動きが続いた。午後に入るとレアル安が進行。伯中銀は追加のドル売り介入を実施するも損失確定のレアル売りが続き、取引終盤に日中安値3.8140を付けた後、結局3.8060でクローズ。
- 伯中銀は本日もドル売りリスワップの入札を実施。既存ポジションのロールオーバー4.4億ドルに加えて50億ドルの追加入札を3回に分けて実施したが、レアル安に歯止めがかからなかった。先週、伯中銀は9日から15日までの6営業日で245億ドルの介入を行う考えを示しており、明日15日は残り157.5億ドルの介入が見込まれている。
- 本日のマーケット引け後、伯中銀は来週に関して100億ドル相当の入札を行うことを発表した。マーケット次第で入札額を変更する可能性を示唆したが、今週と比較して低い介入金額が示されており、介入効果の持続性が注目される。
- 本日開催されたECB理事会では年内の量的緩和終了が決定された。一方、政策金利は少なくとも2019年夏の終わりまで据え置く考えを示し、予想よりも遅い利上げペースが示唆された。結果を受けてユーロは下落。ユーロドルは1.18台前半から1.15台後半へ下落して推移している。(ブラジル市場終了時)

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。